



# IUGONET

Metadata DB for Upper Atmosphere

超高層大気長期変動の全地球上ネットワーク観測・研究  
Inter-university Upper atmosphere Global Observation NETwork

## TDAS, UDAS入門 ～インストール&セットアップ～

平成25年度国立極地研究所研究集会「太陽－地球大気の  
地上多点観測データ総合解析ワークショップ」

@極地研(2013年8月19日)

**田中良昌(極地研)**

IUGONETウェブサイト : <http://www.iugonet.org>

超高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究  
Internationality Upper atmosphere Global Observation Network

プロジェクト 観測ソフト メタデータDB 研究集会

Googleカスタム検索

English

いいね! 送信 3人が「いいね!」と言っています。Facebookに登場して、友達がいいね!を見てみましょう。

## 超高層分野の為に Metadata DB

地磁気、レーダー、太陽望遠鏡等の多様な観測データを1クエリーで見え。>>

Free Word: (Free Word) (e.g. magnetometer, SMART, radio wave, imaging riometer,....)

Time: from YYYY-MM-DDTHH:MM:SSZ to YYYY-MM-DDTHH:MM:SSZ [UTC]

Data Types: Data Set (  Numerical  Plot / Movie )  Data File / Plot  Instrument  Observatory

Search

- お知らせ -

- ・ニュースレター No.3を発行しました(2013年7月1日)
- ・UDAS v3.00.2をリリースしました(2013年8月18日)
- ・第232回生存圏シンポジウム(8月19,20日)および国立極地研究所研究集会(8月21日)のご案内
- ・IUGONETユーザー用のメーリングリストへの登録のご案内

ここをクリック。

極地研究所、東北大学、名古屋大学、京都大学、および九州大学の5機関が連携しているレーダー、磁力計、光学観測装置、太陽望遠鏡等を用いた超高層大気の観測データについて、これまで長年にわたって蓄積された多種多様な観測データに関するメタデータをデータベースで構築します。これにより、各研究機関が所有する各種観測データを有機的に利用した総合解析を、国内外の関連研究者の緊密な研究協力体制のもと、様々な現象が複雑に絡み合う超高層大気のメカニズム解明を目指します。

IUGONET Metadata DB

UDAS Iugonet Data Analysis Software

Follow @iugonet

IUGONET Channel

ツイート @iugonetさんをフォロー

iugonet @iugonet 12時間  
【生存圏 シンポジ#232】 朝日のプログラムは全て終了しました。明日2日目は9時半から開始します。( @iugonet live at ustre.sim12ieib)

iugonet @iugonet 13時間  
【生存圏 シンポジ#232】 本日最後のセッションです。東京アジアVLF帯電磁気観測ネットワークAVONのテーマ公開に向けて大発表が、千原大! ( @iugonet live at ustre.sim12ieib)

@iugonetさん宛にツイートする



## IUGONETデータ解析ソフトウェア - UDAS

### トピックス

- UDAS v3.00.1がリリースされました。TDAS最新版v8.00用です。[こちら](#)よりご自由にダウンロードしてご活用下さい。(2013年6月10日)
- IUGONETユーザー用のメーリングリストへのご登録は[こちら](#)から。  
IUGONETプロダクト(UDAS、メタデータDB)に関する役立つ情報を配信致します。



ここをクリック。

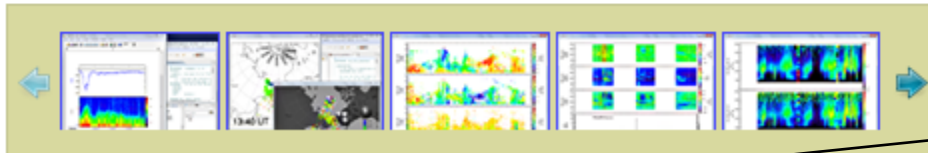
### UDASの概要

IUGONET Data Analysis Software (UDAS)は、THEMIS衛星データの解析ソフトウェアTHEMIS Data Analysis Software suite (TDAS)のプラグインソフトウェアで、

- IUGONETデータ(地磁気、レーダーデータ、オーロラ画像等)、衛星データ(THEMIS, GOES, WIND, ACE)、その他多種多様な時系列データの並列表示、
- 多彩な解析ツールの利用、
- 観測データにオンラインアクセス、ユーザーのコンピュータ上に自動的にダウンロード、

が可能です。

### スクリーンショット



過去の講習会の資料等

UDASで扱えるデータとロードコマンドのリスト

[使い方](#)

[UDASロードプロシージャの一覧](#)

<http://www.iugonet.org/software/install.html>

## IUGONETデータ解析ソフトウェア - UDAS

### UDASのダウンロード

ファイルサイズ~1MB)

バージョン	ファイル名
3.00.2 (for TDAS v8.00)	<a href="#">udas_3_00_2.zip</a>
3.00.1 (for TDAS v8.00)	<a href="#">udas_3_00_1.zip</a>
2.01.1 (for TDAS v7.01)	<a href="#">udas_2_01_1.zip</a>
2.00.2 (for TDAS v7.00)	<a href="#">udas_2_00_2.zip</a>
2.00.1 (for TDAS v7.00)	<a href="#">udas_2_00_1.zip</a>
1.00.1 (for TDAS v6.00)	<a href="#">udas_1_00_1.zip</a>
1.00b4 (for TDAS v6.00)	<a href="#">udas_1_00_b4.zip</a>
1.00b3 (for TDAS v6.00)	<a href="#">udas_1_00_b3.zip</a>
1.00b2 (for TDAS v6.00)	<a href="#">udas_1_00_b2.zip</a>
1.00b1 (for TDAS v6.00)	<a href="#">udas_1_00_b1.zip</a>
0.21b1 (for TDAS v5.21)	<a href="#">udas_0_21_b1.zip</a>

最新のバージョンは、ここからダウンロードします。  
2013年8月21日現在の最新版は、バージョン3.00.2 (for TDAS v8.00)

UDASをダウンロードされる際に、IUGONETユーザー用のメーリングリストに登録されることを推奨します。  
登録申請は[こちらのフォーム](#)よりお願い致します(氏名、E-mailのみの登録でOK)。

### リリースノート

- [WhatsNew.txt](#)

### インストール方法

- [インストール方法\(日本語; PDF\)](#)
- [旧インストール方法\(日本語; PDF\)](#)

日本語のインストールマニュアルがあります。

TDAS&UDASのインストール動画が見られます。



それでは、実際にインストールしてみましょう！

(以下は、IDL7.1をインストールしている例です。)

1. UDASをダウンロードする。

<http://www.iugonet.org/software/install.html>

から、udas\_3\_00\_2.zipを、好みの場所にダウンロードする。

例えば、

- ・ Windowsの場合、C:\Program Files\ITT\IDL71\external\
- ・ Mac OS Xの場合、/Applications/itt/idl71/external/

2. zipファイルを解凍する。

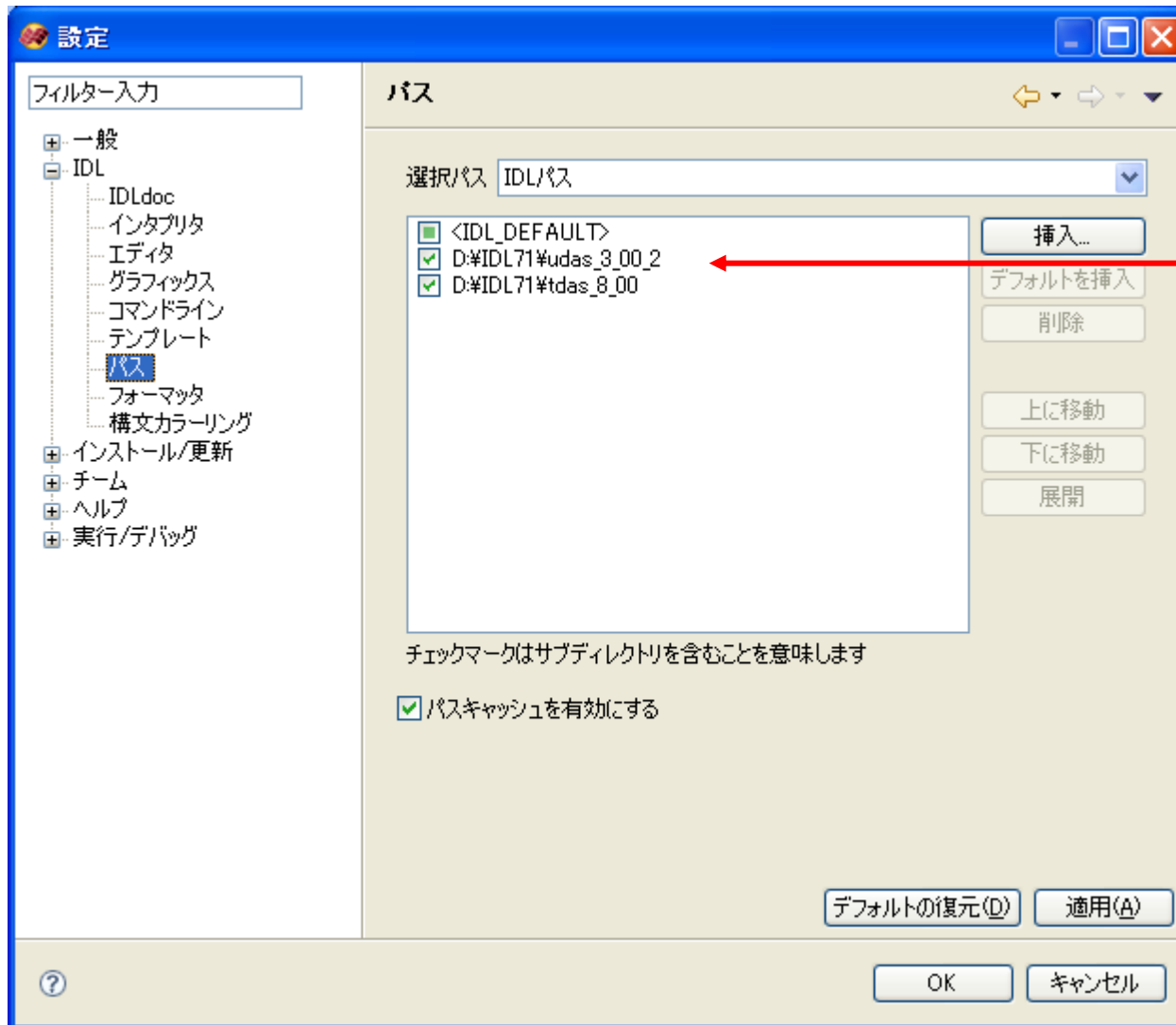
### 3. IDL Workbenchを起動する。

- ・ WindowsXP, 7の場合：スタート→すべてのプログラム→IDL 7.1  
→IDL Workbench
- ・ Mac OS Xの場合：アプリケーション→itt → idl → IDL WorkBench

### 4. パスの設定

- ・ Windowsの場合：
  - (1) ウィンドウ→設定
  - (2) IDL→パス→挿入→ (udas\_3\_00\_1を選択)
  - (3) 左側のチェックボックスにチェック→上に移動→OK
- ・ Mac OS Xの場合：
  - (1) メニューバーのIDLWorkBench → Preferences
  - (2) IDL →パス→挿入→ (udas\_3\_00\_1を選択)
  - (3) 左側のチェックボックスにチェック→上に移動→OK

パスが、以下のウィンドウのように設定されていればOK (Windowsの場合)



必ず、**udas\_3\_00\_2**が  
**tdas\_8\_00**  
より、上にあること。

IUGONET: Load Data

THEMIS THEMIS Derived Spectra GOES WIND ACE IUGONET OMNI

IUGONET Data Selection:

Start Time: 2007-03-23/00:00:00

Stop Time: 2007-03-24/00:00:00

Use Single Day

Instrument Type: Automatic\_Weather\_Station

Data Type: troposphere

Parameter(s)-2:

Note: # means that the load procedure has been developed in collaboration with the ERG Science Center.

Data Loaded:

## 5. 動作確認

- (1) IDL> thm\_gui
- (2) File→Load Data
- (3) IUGONET Dataタブをクリック。

左のように、Instrument Type の数が増えていれば、成功。例えば、リストに **HF\_Solar\_Jupiter\_radio\_spectrometer** が入っていれば、OK。

Delete All Data

Done

(2013-08-20/06:21:28) 9: Chosen dtypes: [ask/ask/11]